

効果のあった実践事例

学年	第5学年	教科等	国語科
単元・内容	物語の評論文を書こう「注文の多い料理店」		
○ ねらい ・時，場，人物の叙述に着目し，物語のクライマックスについて考えることができる。 ○ 手立て 1 クライマックスの定義（最も大きな変化）と物語が大きく変わる起承転結の転の場面を確認させることで，考える場面を焦点化する。 2 3つの事件についての比較ができるように，それぞれの事件を短冊で提示して焦点化する。 「注文の意味に気付く二人の紳士」 「顔が紙くずのようになった二人の紳士」 「犬に助けられた二人の紳士」 比較させたい事件を焦点化して示す。 意見を交流する。 3 どの事件がクライマックスになるのか選んだ理由と根拠となる部分を書く。 4 同じ事件を選んだ児童同士でグループ内交流を行い，理由と根拠を交流する。 5 全体交流を行い，各グループの理由と根拠を確かめる。 ○ 児童の変容 1 クライマックスがどこになるか，教材文から根拠を見付けながら，自分の考えをもつことができた。 2 根拠をもとに話し合いを進め，グループ内の交流を進んで行うことができた。 3 各グループの根拠を確かめ合うことで，時，場，人物の叙述に着目しながら物語のクライマックスとなる事件について考えることができた。 ○ 実践者のコメント クライマックスにおける主役の変容を読み取ることができるように，物語で最も大きな事件はどの事件か考えるという視点で考えさせた。事件を焦点化することで，事件を比較しながらクライマックスはどれか考えることができた。同じ事件を選んだ者同士で意見を交流することで，意欲が高まり，教材文から根拠を見付けながら理由を書くことができた。ただ，事件という視点で考えさせたことで，大きな変化について捉えにくい児童もいた。			